



し ろ ま と し や す
南風原町長 城間 俊安

平成29年度施政方針

施政方針

平成29年第1回南風原町議会定例会の開会にあたり、城間俊安町長による施政方針演説が行われました。「施政方針」とは、これからの町政運営に向けての基本的な考え方と主な施策を示すものです。

はじめに

私が南風原町の舵取りを任されてから19回目の春を迎えようとしています。思い返せばこれまで多くの困難を乗り越え、その過程で得たものを活かしながら新たな時代を切り開いてまいりました。就任以来一貫して「子どもたちには愛を、若者には夢と希望を、お年寄りには安らぎを」を自らの信条とし、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、みんなにとつて「住み良いわくわくするまち南風原町」をつくるため、協働のまちづくりを推進してまいりました。これまでの町政運営に対し町民及び議員各位のご理解、ご協力で衷心より感謝申し上げます。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。そして本年

度においても、初心を忘れることなく将来にわたる、活気に満ちあふれ魅力的な南風原町であり続けるよう、私たちの子や孫、その先の輝かしい未来を見据えながら、全身全霊で取り組んでいく所存であります。それでは、平成29年度に実施する施策について、その骨子を申し述べます。

きらめくまち 輝く人が育つ まちについて

「第五次南風原町総合計画」の策定時には、公募でお集まり頂いた住民会議のみなさんに大変お世話になり感謝申し上げます。地域社会への愛着と誇りを持って暮らす町民のみなさんが、個々の思いを表し意見を交わし、夢や目標を実現していくことを目指して、総合計



平和コンサート (平和の灯点灯)

画の素案づくりを町民と職員の協働で進めてまいりました。引き続き、将来像についても「ともにつくる黄金南風の平和郷」を掲げ、世界の恒久「平和」を願う町民の心を内外へ発信する平和行政に取り組んでいくとともに、新たな時代の潮流の中で、「自立」できる活力、地域力のあるまちづくり、そして、まちの様相が移り変わる中で改めて自然との調和、人と人のつながりを大切に「共生」した暮らしを再生・創造していくまちづくりをめざしてまいります。

みんなで考え、
みんなで作る
わくわくする
まちについて

協働のまちづくりを推進するため、多様な学びの場をとらして町民一人ひとりがともに考え、助け合い、支え合って創意と工夫で地域力を高め積極的により積極的に参画できるよう取り組んでまいります。そのためにも地域活動の現状と課題を意識し、自治会との連携を図ってまいります。

町民と行政の情報共有については、広報誌をはじめ町ホームページや電光掲示板等あらゆる手法を活用し、わかりやすく的確な情報発信を推進していきます。また、各種委員会等への住民参画を促し、引き続き町民のみならずのご意見が町政に最大限に反映される仕組み

みづくりを行ってまいります。



総合計画の住民会議メンバー

きらきらと
輝く人が育つ
まちについて

子どもたちの「生きる力」と主体的な行動を

育てていくために、「家庭教育」、「学校教育」を通じて、自ら考え、決め、行動できる人づくり、人と人のつながりを育む環境づくりを家庭と学校、地域が一丸となつて取り組んでまいります。

幼稚園教育、保育については今年度も引き続き幼稚園・保育所が連携して子育て支援、教育環境の充実を図るため、専任園長、保育時間の延長、給食提供、土曜日・夏休み等長期休暇期間の預かり保育に加え、4歳児保育を受け入れ可能な人数で最大限に実施し、より一層の幼稚園教育及び保育の充実を図ってまいります。また、前年度より



4歳児教育の開始

事業開始した「幼稚園体育活動充実事業」も実施します。

学校給食については、安全・安心な給食を提供し、健康づくりに努め、食育を推進してまいります。

中央公民館、文化センター・沖縄陸軍病院南風原壕群を、文化活動・平和学習・交流・観光の拠点として、充実強化を図り、観光関連事業と連携し事業を推進してまいります。

「青少年の国際交流」は、中学生をカナダへ派遣します。また、引き続き海外移住者子弟を受入れ交流を図ります。



学校給食でカナダ料理を体験

スポーツ振興として、黄金森公園施設を活用しての、スポーツキャンプ誘致等を図るとともに、スポーツに関する技術力・意識の向上に取り組んでまいります。

また、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用して、「学習支援員」・「特別支援教育支援員」の配置事業、「学校ICT推進事業」、「北丘小学校西側避難通路整備事業」、「子ども平和交流事業」、「伝統芸能保存育成事業」、「県外等派遣助成事業」等を引き続き実施してまいります。



名古屋グランパス春季キャンプ（サッカー教室）

ちびっこで つくる福祉と 健康のまちづくり

今年の1月1日から実

施している、こども医療費の現物給付につきま

しては、子育てをしている保護者から高い評価を得ているところ。この事業は子育て世代の支援や子どもの貧困対策と併せて病気の早期発見、早期治療を促し、長期的に見た医療費の抑制も視野に入れて取り組んでおり、今後も引き続き実施してまいります。保育所入所に係る待機児童対策については、弾力化及び認可保育園の新設2園や増改築、小規模保育、認可外保育園の認可化移行等に取り組み、受入可能人数を拡大してまいります。子どもの貧困連鎖の打破に向けては、引き続き子ども元氣支援員2人

の配置と、居場所となる子ども元氣ROOM2カ所を設置し、支援が必要な子どもをしっかりと支え、子どもたちが夢と希望を持つて成長していただけるよう取り組みを推進してまいります。

消費税率の引き上げに際し、低所得者に対する適切な配慮を行うため、臨時福祉給付金として、平成28年度町民税が課税されていない方一人につき1万5千円の給付金を支給いたします。

町民の健康づくりについては、妊娠期から高齢期まで生涯にわたる健康づくりへの支援を推進してまいります。その取り組みの一つとして一括交付金を活用し、学童期における生活習慣病予防の取り組みを継続してまいります。

国民健康保険事業の運営については、特定健診の受診勧奨の強化による受診率向上や特定保健指導の実施率の向上に努め、生活習慣病の早期発見や重症化予防を図り、後発医薬品の活用促進等と併せて医療給付費抑制の取り組みを強化してまいります。また、本県国保の

危機的な財政状況の解決に向けては、引き続き沖繩の特殊事情に配慮した制度設計の構築等を国へ要請していくとともに、30年度からの県単一化に向け、県においても市町村国保への支援に取り組みんでもらえるよう要請してまいります。

「第3次南風原町計画」・「第4期障がい福祉計画」を策定し、支援体制の強化とサービスの充実に努めてまいります。

高齢者福祉と障がい者福祉については、第五次総合計画に基づき、地域のニーズを踏まえ「第8次南風原町高齢者保健福



町敬老会

工夫と連携で 産業が躍動する まちについて

次に産業の振興についてであります。

緊急経済対策の一環として、住宅の修繕、補修、耐震補強工事へ補助を行う「南風原町緊急経済対策住宅リフォーム支援事業」を引き続き実施してまいります。

農業振興については、農地の有効活用を推進し、農地の保全や土壌改良・地力増強を促進するため

の土づくり奨励補助を継続します。拠点産地であるかぼちやの増産支援のためのミツバチ巣箱設置や花粉交配用品種の導入、ビニールハウス、井戸設置の補助などの助成を実施するとともに、高生産性農業用機械施設導入事業や園芸ブランド機械整備事業の活用による生産施設の整備を促すことで、生産農家を支援し農業経営基盤の強化に努めてまいります。また、ファーマーズマーケット南風原「ぐがに市場」の集客力

向上への支援、付加価値の高い農産物の生産や出荷体制の強化が図られるよう、関係機関との連携や病害虫、自然災害等の被害を未然に防止する対策に必要な農業用資材の購入助成と併せて、販路拡大に向けた取り組みを支援することで農業経営の振興を図ってまいります。

担い手育成などにおいては、南風原町農業委員

会に農地利用最適化推進委員の新設による機能強化とあわせ、JA、農地中間管理機構と連携し耕作放棄地や遊休農地を解消し、農地の確保を行うとともに青年就農給付金の給付等により、新規就農者等の農業の担い手育成に取り組んでまいります。

基幹作物であるサトウキビ振興については、病害虫対策や収穫機を活用した利用者に対する補助等による生産振興を図ります。



南風原物産展

花き振興については、花き拠点産地協議会等の検討会を開催し、新たな品目への取り組みの強化

や導入支援に努めるとともに、ストレリチア立ち枯れ対策の強化を促進してまいります。

果樹振興については、補助を活用した施設導入への取り組みや販路の拡大に努めるとともに、圃場拡大・増産等を図り、果樹生産農家の経営基盤の強化に努めてまいります。



ふるさと博覧会での苗木の配布

山川地区畑地かんがい事業については、畑地へのかんがい施設の整備を進め、今年度内での事業完了に向けて取り組んでまいります。

畜産振興については、生産基盤の整備と経営の安定化を図るため一括交

付金などを活用した事業と併せて、家畜公害・環境保全対策事業や家畜伝染病予防事業の取り組みを推進してまいります。

中小企業小規模企業振興については、町商工会との連携強化や、町内企業の振興施策とともに、地域経済の活性化発展の促進を図られるよう「南風原町中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、町内事業所との協議会等を活性化させるとともに、本町の事業所に対する振興策の充実、強化に努めてまいります。また、町内への企業誘致の促進や人材サポートセンターの取り組みを強化し、町民の雇用拡大を図ってまいります。

工芸産業振興については、本町の重要な伝統的工芸品である琉球絣・南風原花織の生産技術の向上、担い手の育成及び「地域ブランド構築・展開プロジェクト」等によるブランド化に努め、工芸品

の価値を高めるための取り組みを行うとともに販路の拡大等を琉球絣組合と連携し取り組んでまいります。

観光振興については、沖縄県の重要産業であり、魅力ある観光で地域が潤うまちを目指し、観光客の誘致につながる、新たな魅力ある観光資源の創出や観光発信としてのプロモーション方法の調査・研究、観光まちづくり人材の育成に取り組んでまいります。また、観光協会と連携して観光施策推進の体制を強化し観光振興に努めてまいります。



琉球絣後継者育成事業

みどりごまちは
調和した安全・安心
のまちづくり

急速な都市化が進展する本町にあつて自然環境と共生するまちづくりは防災や地域経済の活性化にもつながる重要な要素です。地域と協働した防災体制の強化を図り、防犯・安全体制の確立と推進を行ってまいります。

また道路事業については、町道10号線・町道73号線及び町道5号線の用地取得と物件補償を進めてまいります。街路事業については、津嘉山中央線の用地取得と物件補償を進め、津嘉山中央線2工区は物件調査を進めてまいります。宮平学校線は国道交差点の北側における町道部分の舗装工事を行ってまいります。公園整備事業について

予算編成について

平成 29 年度の予算編成については、扶助費の増



ふるさと博覧会

的な視点での総合的かつ計画的に管理していくための財政問題の調査・研究を行います。また平成 29 年度は第三次南風原町行政改革大綱の最終計画年次であることから、引き続き徹底した新たな行財政改革の策定を進めてまいります。

となっておりま

一般会計	13,397,090 千円
特別会計	7,442,535 千円
全会計合計	20,839,625 千円

に引き合いながら、引き続き一括交付金の活用工夫を凝らし、積極性を失わずに実効性を担保する経費の確保を念頭に「選択と集中」による予算編成を行っております。今後引き続き、子育て支援・教育の充実を図り、福祉向上、産業振興等、町民ニーズに応えた事業を実施し、「住み良いわくわくするまち南風原町」のブランド力を高めてまいります。

本年度の各会計予算編成の内訳は、

平成 29 年 3 月 2 日
南風原町長 城間 俊安

また、平成 29 年度は、新たな総合計画の好スタートの年度となるよう、町民一人ひとりが幸せを実感でき安全・安心して生活を営み、誰もが住んでいることを誇りに思える『住み良いわくわくするまち南風原町』の確立を目指して職員とともに創意工夫を重ね、一歩一歩前へ進む情熱をもって町政運営に邁進してまいります。

おわりに

平成 29 年度より新たな取り組みと致しまして「ふるさと納税制度」を活用し、地域の活性化に資することを目的に、寄付をして頂いた方に返礼品として地域の魅力ある特産品を活用した取り組みを行います。



南風原町でキャンプを行った名古屋グランパスの選手ら